

工事の げんば 現場より

旧矢筈原家住宅 保存修理事業

今はこんな様子だよ。

3月2週目

修理現場から
文化力
POWER OF CULTURE



今回工事の大きな目的のひとつは、^{あまも}雨漏りが生じるほど劣化していた茅葺屋根の全面葺替です。その初期工程として現在の屋根を解体する作業が行われました。ただ壊していくのではなく、再利用して残せるものを残していくため、^{ていねい}丁寧に作業を進めています。茅葺屋根は素材や作り方が地域によって異なり、^{とくちょう}様々な特徴を有しています。そのため解体に際しては古い屋根を分析しながら^{ぶんせき}ほどいていき、現在の屋根がどのような素材でどのように作られたかを調べていくことも重要になります。この工程で分かったことや、資料による調査・類例調査なども踏まえて、新しい屋根の仕様を検討していきます。



解体作業は解いた茅を整え束ねながら行っています。場合によっては茅を再利用することもあるため綺麗にとっておく必要があること、処分する茅でも、なるべく小さくまとまっている方が作業効率が良いためです。^{ていねい}丁寧に行っていくべき作業ですが、^{こうりつ}効率よく素早く仕事をする事も求められます。埃やゴミが舞い散る作業になりますが、作業の安全のためにもこまめに^{せいそう}清掃しながら行っているため、現場は常に整然としています。



過去の
お知らせは
こちら



^{ていねい}丁寧に解体をしたことで、過去に葺いた茅葺の方法を確認することができました。旧矢筈原家住宅の旧所在地である^{しょうかわ}荘川村独特の屋根葺き仕様であることが確認されました。また、^{だんめん}断面が分かるように解体することで、茅の積み重ね方や押さえ方なども確認することができました。

